

第4号様式（要綱第6条関係）

2025年度 藤沢市立鵠洋小学校 臨時部会議事録

開催日時 2025年 11月 6日(木)11時～12時

場 所 鵠洋小学校 相談室

出席委員	河村 満 会長／鵠沼ふれあいトライアングル 代表 亀本 淳夫 副会長／鵠洋小学校 校長 徳永 理加 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 寺田 言子 鵠沼地区青少年育成協議会 吉田 正彦 学識経験者（元鵠洋小学校校長） 齋藤 香乃 鵠洋小学校PTA 代表 奥濱 佳那 鵠洋小学校学校運営協議会 コーディネーター 出席委員：7名 民生委員よりお手伝い：2名（浅場信子、稲葉久美子） 欠席委員：6名（坂田、野村、浪川、山口、庄司、後藤）
次第	1 避難訓練への協力 2 避難訓練協力と観察 3 振り返りと協議（避難訓練時の児童・教師の様子、協力参加への振り返り）
協議内容	1 避難訓練について説明 亀本副会長 今回の避難訓練は児童に対して予告なしに行っている 渡り廊下は崩れることもあるので、渡り廊下の通行を塞ぐ 二階と一階の渡り廊下の通り抜けを禁止するため、カラーコーンを置き、児童にはここは通れない旨声かけをする また、その際の児童の避難の様子、教師の動きを観察する 2 避難訓練協力と観察 3 避難訓練振り返りと協議 河村会長 教師の指導に従ってではあったが、1年生がすぐに6年生の教室に入って机の下にかくれていた 高学年に私語が多かったことは残念 徳永委員 6年生の中に下級生もまざって一緒に避難している様子は良かった 子どもたちに昨年のような緊張感が感じられず、ゆったり歩いて避難する様子が見られた 寺田委員 中庭、一階渡り廊下付近では放送が聞き取れない、万が一の時に大丈夫なのか 学級での避難指導は直前ではなく、間をおいて忘れたところに訓練があると身についているのかどうかかわかるのではないかと 吉田委員 中庭では放送が聞き取りにくいのでメガホンで「避難訓練です」と

伝えたら、声をかけ合いながら少し広い場所に集まり、ダンゴムシのポーズをとっていた

自分の身を守る行動が取れていて良かった

しかしながら、北側の放送設備は課題だと思う

齋藤委員 二階渡り廊下をコーンでふさいだが、コーンを持って歩いている時点で避難訓練だとわかってしまった

予告なしでの避難の様子を見たかったのに残念だった

訓練開始後、掃除用具入れに入って隠れた男子がいた

避難行動としては間違っているのではないか

奥濱委員 何をしたらいいかわからず戸惑っていた子がいたが、先生に「地震の時はどうするの？」と声がけされ、ダンゴムシのポーズをとっていた

その後、落ち着いて放送を聞き避難している様子を見て、何回も訓練を重ねて定着していくものなので、大事なことだと感じた

浅場さん 訓練があると子どもたちが気づき、あまり緊張感がなかったように思える

どうしたら緊張感のある訓練になるか、子どもたちにわからず訓練できるよう工夫が必要だと感じた

稲葉さん 避難訓練中に1階トイレの中に子どもたちがいて心配になった
訓練自体は整然と行っていたように思う

亀本校長 避難訓練を予告せずに行ったり、通れない場所を作ったりすることで、子どもたちは、いざという場面で考えて行動する用になると思っている

本当に大地震が起これば、もっと想定外の事態が起こりパニックになるだろうが、そういったこともあり得るという事後の話は、よく聞いてくれたと思う。今後とも子どもたちの「防災」に関する意識付けについて、いろいろと意見交換をしながら、考えていきたいと思っている